



確かな 一歩

高知空港の再拡張問題で、滑走路の延長予定地である田村地区の地権者で組織する高知空港再拡張対策協議会（末政博章会長）は、12月18日、市役所に県空港対策推進本部の山本副知事を迎え、要望書を提出しました。

再拡張に伴う宮農対策など周辺整備を内容とする要望の提出で、この問題は地権者と県が同じテーブルにつくことになり、前進の一歩を踏み出しました。

今年もよろしく

1月6日、大篠小で南国市消防入魂式、出初め式が行われ、市消防署、市内12分団、婦人防火クラブなどから315人が参加しました。

式では大町市長が「今年は南国市にとって飛躍の年、社会の変化の中で市民が安全に生活できるよう協力を頼みます」とあいさつ。番員、団員の服装や装備の点検の後、模範操法を行いました。



How do you do !!

国際理解教育推進校である香南中学校が、11月18日、国際交流の一貫として、百高等学校の海外留学生5人を招きました。

これまで年齢層が高い高知大学の留学生との交流が多くたのですが、「同世代の人との交流を」との生徒からの要望が強く、このような機会が設けられたもの。

各学年別の交流会では、生徒たちは照れながらも、積極的に質問したり、外国の歌と一緒に歌ったりして楽しいひとときを過ごしていました。



スイッチ

1月4日香南清掃組合で、火入れ式が行われました。周辺地区の人、職員らが見守るなか、大町市長と地域の代表者乾景志さんが点火スイッチを押すと焼却炉に火が入りました。

またこの日、同組合南側のゲートボール場では始球式を行い、コート開きとなりました。このゲートボール場は健康と文化の向上とともに、地域と密着した組合に、ということで構成七市町村により昨年11月末に完成したもの。

なお、コートの使用につきましては高田利度（@2193）さんまで。



土佐日記

まつり前日の二十日には、PRのために高知市のアーケード街や日曜市で、実行委員会のメンバーらが「団体行列」を練りあげました。艶やかな行列に、道行く買い物客らはしばし見入っていました。



門出の まつり



サンタ が

やつて來た

クリスマスを前にした12月20日、サンタクロースの衣装をつけた大町市長が、市内の福祉施設3カ所を訪問しました。

大町サンタから、種いぐるみなどのプレゼントを受け取った子供たちは大喜び。サンタさんにだっこされたり、握手をしたりと一足早いクリスマスを楽しみました。

これは市内の量販店が、チャリティーオークションの収益金を、福祉施設に寄附して欲しいと申し出たのがきっかけだそうです。

十二月二十一日、比江の紀氏邸跡で「第九回土佐日記門出のまつり」が同まつり実行委員会（乾常美会長）の主催で催されました。

千五十余年の昔、土佐での国司の任を終え、帰京する際の心情などを記した「土佐日記」の門出の日をしのぶとともに、土佐の名を広く世に出したことをたえようと開かれたもの。

今年は地元の人や市関係者などが参加。貴之をしのぶ祭典のあと、府小の六年生による「土佐日記」の朗読や、北陵中の三年生が自作の句を披露。また大町市長が貴之にふんし、訪れた人を楽しませていました。

12月21日、比江の紀氏邸跡で「第九回土佐日記門出のまつり」が同まつり実行委員会（乾常美会長）の主催で催されました。

今年は地元の人や市関係者などが参加。貴之をしのぶ祭典のあと、府小の六年生による「土佐日記」の朗読や、北陵中の三年生が自作の句を披露。また大町市長が貴之にふんし、訪れた人を楽しませていました。

12月21日、比江の紀氏邸跡で「第九回土佐日記門出のまつり」が同まつり実行委員会（乾常美会長）の主催で催されました。